

大子中学校だより



いつも心に大子中プライドを!



文責 校長 長山 芳子
大子町立大子中学校
久慈郡大子町池田1648
TEL 72-0158, FAX 72-0461

↑ほぼ毎日更新ポータルサイト:

<http://www.daigo.ed.jp/daigo-cyu/>

←カラー版が掲載されています

5月の生徒集会を実施

～よりよい学校生活のために「気付き・考え・実行」～



連休中、生徒は、大きなけがや病気もなく、充実した生活が送れました。連休でリフレッシュした心と身体で、5月の生活を充実したものとしていけるよう、全職員、生徒とともに頑張ります。8日より新型コロナウイルスが5類感染症に移行し、学校の対策も変わりましたが「節目であるが、終わりではない」ことを心にとめて生活していきます。

さて、5月8日(月)には、生徒会を中心に「生徒集会」を実施しました。専門委員会から、様々な提案がありました。自分たちの学校生活を自分たちの手でよりよくしようと取り組む姿に頼もしさを感じました。

体育委員会

体力作りのため、毎週木曜日15分間パワーアップタイムを行います。月毎に運動を楽しめる内容を考えています。

図書委員会

近々家読だよりを発行します。みんなが家で読書を楽しめるよう内容を工夫しています。読んでください。

JRC委員会

今年もベルマークを集めます。家庭にあるマークを切り取って、もって来てください。

保健給食委員会

週1回完食調べをします。給食に感謝して、残さず食べるようにしましょう。

5月の学校経営

5月の生徒指導目標 「心と心の結びつきを深めよう」

1 基本的な生活習慣の確立に向けて指導・支援します。

(1) 3つの凡を徹底します。

「時を守り 場を清め 礼を正す」

<時>登校時刻・始業時刻・給食開始時刻・下校時刻・家庭学習時間

<場>くつばこ・ロッカー・机・机の中・かばんの中・身の回り

<礼>あいさつ・返事・言葉遣い・言動

(2) 自分のことは自分でできるように認め、励まします。

・身支度・早寝早起き朝ご飯・自力登校・「学校生活のきまり」の遵守

※本校は、自分で歩く、自転車で登校する等自力登校を励行しています。それは、「自分のことは自分でできる」と「体力作り」を大切にしているからです。しかし、お子さんの状況や周囲の環境によっては自力での登校ができない場合もあるかと思えます。お子さんの状況に応じて、その目的についてのご理解・ご協力をお願いいたします。

(3) 5類感染症移行後の適切な新型コロナウイルス感染症対策を指導していきます。

・学校生活では「マスクの着用を求めない」ことを基本とします。

・教室の換気、手洗い等の手指衛生、咳エチケットを引き続き指導します。

※本人に感染が確認された時には「出席停止」(発症後5日を経過しかつ症状軽快後一日を経過)

出席停止解除後も当該生徒に対し発症から10日を経過するまで、マスク着用を推奨します。

濃厚接触者の特定は行わないため、登校を控える必要はありません。

2 生徒一人一人が目標を明確にもち、課題に取り組めるよう自己指導力を育成します。

(1) 「気付き・考え・行動する」力を育てます。

・その時、その場でどんな行動が良いか問いかけ「気付き・考え・行動する」力を育てます。

・一人一人の日常の頑張りを認め、一人一人の手応え(自己有用感)につなげます。

(2) 学習活動のねらいを明確にもって取り組む力を育てます。

・課題を明確にし「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」を明確にして、課題解決ができるようにし、学ぶ意欲を高めます。

・「教える」から「学ぶ」へ、試行錯誤、アウトプット、振り返りを重視した授業づくりをします。そのために、教職員は、日々学び、研修を進めていきます。

3 共生の考えに基づき、認め合う学年・学級・学校・生徒会づくりを推進します。

(1) リーダーシップとフォロアーシップを育成します。

・学校行事、生徒会専門委員会、部活動、学年・学級活動などあらゆる場を捉えて、リーダーシップとフォロアーシップを体験させ、協働する力を育てます。

・生徒同士の伝え合い、認め合いを大切に、自己有用感を育てます。

(2) 生徒の困り感に寄り添い、積極的に支援をします。

・生徒や保護者、教職員同士で情報共有し、生徒の困り感に寄り添い解決に向け支援します。

・学校全体でいじめ防止(早期発見・早期対応)に取り組みます。

